広報
うまじ
第288号
平成28年4月1日発行
the most beautiful villages in japan
馬路村は
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。

馬路村農協アンテナショップ　umaji
平成28年3月24日高知市御座にオープン!!

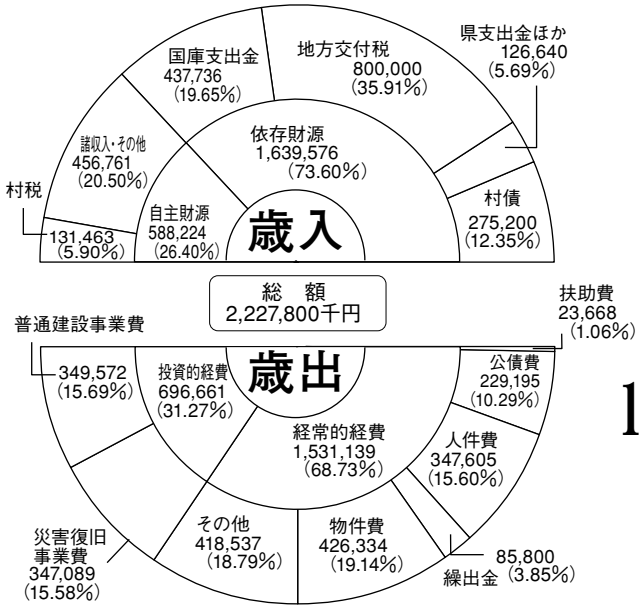
目次

平成28年度一般会計当初予算 …… 2·3
馬路診療所完成·防災訓練 …… 4·5
国勢調査結果 …… 6
Dr. 中川の木の香る診察室から …… 7
安田川漫歩（18） …… 8·9
おらが村の学校便り㊵ …… 10·11
魚梁瀬ふるさと応援隊⑨·ふるさとへの便り … 12
中国四国農政局長表彰優秀賞受賞·馬路ヨン … 13
お知らせ …… 14
行事予定表 …… 15
村内あちらこちら·村のできごと …… 16

平成２８年度
一般会計当初予算２２億2,780万円

本村において、2060年の人口目標600人を実現するために樹立した「馬路村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を確実に実行していくため、総合戦略の四つの基本目標「村産品の外商により安定した雇用を創出する」・「新しい人の流れをつくる」・「結婚・妊娠・出産・子育て環境の整備を促進する」・「魚梁瀬地区の維持・創生」の実現に向けた取組を積極的に行うこととしています。

また、平成27年国勢調査において人口822人と示され、人口減少率が県内で最大であった本村が、まさに地方創生を実現するためのスタートの予算編成としています。



前年当初比 12.23%増

本年度の当初予算は2,227,800千円で、前年度1,985,000千円との比較では242,800千円（12.23%）の増額となっています。

【歳　入】

歳入の状況は、依存財源が1,639,576千円（構成比73.6%）、自主財源は588,224千円（構成比26.4%）となっています。これは主に、地方交付税の減額と、経常的経費の増額に対応するため基金からの繰入れを行ったことが要因となっています。

地方交付税においては、平成27年国勢調査の人口が算定数値に反映されること、その他、国、県の情報を基に試算し800,000千円を計上しました。基金からの繰入金は282,695千円で前年の122,745千円と比較すると159,950千円と大幅な増額となっています。

これは、地方交付税の減額と、経常的経費の増額が原因であると分析しています。地方債につきましては、275,200千円（臨時財政対策債35,000千円含む）で、平成27年度と比較して13,600千円（5.2%）の増額となっています。

【歳　出】

性質別にみると、経常的経費は1,531,139千円で、前年度に比べ77,752千円（5.4%）の増額となっています。投資的経費は696,661千円で、前年度に比べて165,048千円（31.1%）の増額となっています。また、目的別でみてみると減額した主な費目は衛生費、農林水産業費、土木費、教育費であり、増額した主な費目は総務費、商工費、災害復旧費となっています。

減額の理由の主なものは、衛生費では馬路診療所建築事業に伴う繰出金、農林水産業費では農業基盤整備事業及び林道事業の終了、土木費では地域優良賃貸住宅整備事業の終了、教育費では学校施設環境改善交付金事業の繰越しが主な要因です。

増額の理由の主なものは総務費で、地方創生事業への取組、商工費ではふるさと納税返礼事業の実施によるものです。

《取り組む主な事業》

総務課

○地方創生課の創設

馬路村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を確実に実行していくため、馬路村課設置条例を改正し、地方創生課を設置しました。総合戦略の四つの基本目標の実現に向けた取組を行うとともに、村の総合企画及び調整に関する事項を行います。

○I・Uターン者獲得の取組

移住コンシェルジュの配置に取り組み、各地区と連携をとりながら、村に通勤している方の移住や都市部からの移住等に対応していきます。また、住環境の整備が急務であることから、移住者用として、空き家の再生を利用した整備を行います。

○交流人口拡大及び馬路村のファンを獲得する取組

馬路村ファンである特別村民等は、ユズ加工品やモナッカバッグの最大の消費者であり、ふるさと納税者にもなっています。交流人口を拡大する取組は村の重要施策と位置づけ、馬路村ファンとして確立する取組を積極的に行います。

健康福祉課

村民がより住みよい地域づくりを目指し、健康・福祉の向上、少子化対策の推進等を総合的に取り組みます。

○住民の健康・福祉の向上

各地区会館にて開催している「あったかふれあいセンター事業」に引き続き取り組み、地域の皆さんが集う拠点づくりの充実を目指します。

高齢化に伴い要介護者・認知症高齢者等を支えるしくみづくりとして、介護家族の集いや学習会を通じて、学びと情報交換の機会を設け、家族・医療機関・福祉関係者が共に寄り添う環境づくりを進めます。

●少子化対策の推進

少子化対策には、出会い・結婚・妊娠・出産・育児に関わる場面を総合的に支え合う施策が重要となります。

そのため、これまでの取組である、出会い・結婚への支援事業と保育利用の無料化を継続しつつ、4月から医療費の無料化を18歳（高卒）までに拡大することで子育て世帯への支援強化に取り組みます。

産業建設課

地域資源を活かした産業振興と生活基盤の整備に努め、魅力と活力のある地域づくりに取り組みます。

●小水力発電事業

朝日出地区に設置した小水力発電所は4月1日から稼働しました。発電による売電収入は、地域振興に活用していきます。

●橋梁の点検

本村の全橋梁の近接目視による点検を行います。道路法の改正により、近接目視による点検が義務づけられました。これにより重要な橋梁の耐震化改修を行っていきます。

●国土調査

本年度の調査区域は東川地区で調査字名は、立山、河ナロ、中畑、榊谷、ハケ、小籔、大段、丸石、ウケ谷、キト裏、西甫木、ヒナド、日浦田が対象となります。

●農業振興

農道の維持修繕、また、引き続き村単小規模事業により、インフラ整備を行い、作業の効率化を進めていきます。

水田の保全にむけ、相名地区では集落営農組織が立ち上がり、耕作放棄地解消など活発な活動を行っています。組織強化はもちろん、他地区での組織化に向け、関係機関と協議していきます。

農協が行う種子油の効用と有効利用法等、高知大学と進める共同研究費への支援を通して、ゆず産業の新規市場と雇用の拡大及び農家の所得向上を目指します。

有害鳥獣対策として本年度も鹿、猿の被害対策事業（駆除報奨金制度・ネット設置補助・狩猟免許取得補助・狩猟税の補助等）については、県や関係市町村、猟友会等との連携により、対策を強化していきます。

●林業振興

間伐を実施する押谷地区、根来谷・西裏地区の森林経営計画を支援し、また、林道・林業専用道開設、作業道開設経費への支援等、インフラ整備を促進することで森林所有者の山林所得向上を目指します。

木材加工分野においては、受注増につながるソフト事業を支援し、事業体の経営体質の強化を図ります。

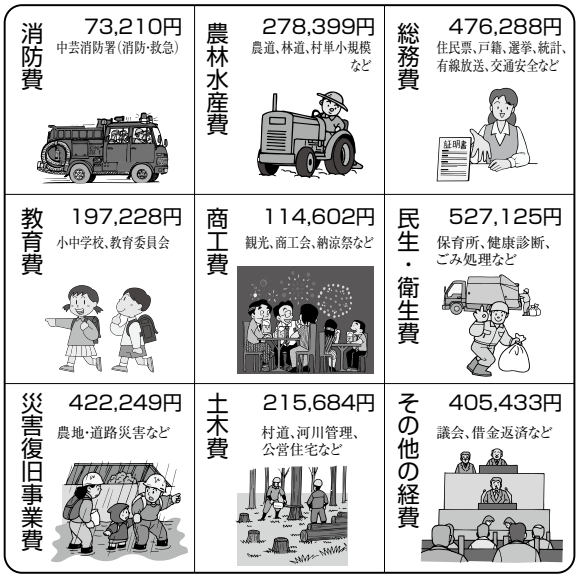
●観光・商業振興

平成27年度に開催された東部地域博覧会を継承強化するため、一般社団法人東部地域観光協議会が立ち上がりました。この団体との連携から村の観光産業の振興に努めていきます。

27年度から始まったふるさと納税返礼事業を活用し、商工振興と地域産業の掘り起こし等を実施していきます。

平成28年度村民一人当たりの一般会計予算額

2,710,218円／人
（22億2,780万円／27年度国勢調査人口（速報値）822人）



平成27年度末基金残高見込み	17億円	平成27年度末地方債残高見込み	22億8千万円
一人当たり貯金額	2,068,126円	一人当たり借金額	2,773,722円

教育委員会

村では、望ましい勤労観・職業観を持ち、たくましく未来を切り開く児童・生徒の育成を目指したキャリア教育や、小・中学校が連携し9年間を通じた教育活動の推進を教育行政の重点課題として学校や地域・家庭で取り組んでおります。「学校評価」や「学校改善プラン」等で開かれた学校づくりを行うことや、地域アクションプラン事業を活用しながら、学校運営や授業改善を図り、教育の振興を行っていきます。

●取り組む基本姿勢

○教育委員会は、教育水準を保証する責任者
○学校は、教育の場であり、教員は児童生徒の教育者
○家庭は、子どもの教育の最終的な責任者
○地域は、教育的風土づくりの出発点

これらを踏まえ、学力の向上とそれを支える教育的風土づくり、地域ぐるみの教育を推進します。

また、小・中一貫教育をさらに充実し、複式学級の改善を行います。主な取組として、子どもの基礎学力の定着と体力の向上、少子化への対応、キャリア教育の推進、豊かな心を育む教育の推進を主に取り組みます。

新しい馬路診療所が完成!!

【地域とともに、頼れる診療所でありたい!】

電話(8)44-2010

馬路診療所は、約1年7カ月の期間をかけて、平成28年春にすべての工事が終了し、このたび完成を迎えました。

そこで、新しい馬路診療所を紹介します。

現在、馬路診療所は医師1名、看護師2名、理学療法士1名、事務職員1名のスタッフで運営を行っています。

月曜日から金曜日まで、水曜日を除く平日の通常診療、往診、リハビリテーション、振動病治療、健康診断事業に加え、住民から継続診療の要望が強かった歯科診療の実施（毎週火曜日、午後）を行っています。

水曜日には、医師が研修のため不在となりますが、看護師や事務員は勤務し、患者等の対応をしています。また、この間には、月曜日、金曜日の午後に魚梁瀬診療所での診療を行っています。

馬路診療所玄関

一般リハビリ室

歯科治療室

区分		月	火	水	木	金
一般診療	午前	馬路 9:00～12:00	健診・検査 8:30～12:00	休診 （看護師及び事務員は勤務）	健診・検査 8:30～12:00	馬路 9:00～12:00
	午後	魚梁瀬 14:30～17:00	馬路 13:00～17:00		馬路 13:00～17:00	魚梁瀬 14:30～17:00
リハビリ	午前	一般リハビリ	一般リハビリ	相談及び訪問リハビリ	一般リハビリ	一般リハビリ
	午後	相談及び訪問リハビリ				相談及び訪問リハビリ
歯科	午後		14:30～17：00			

減災力の向上に取り組む！　第一歩

新しい施設の完成を迎え、平成28年2月10日に、「地域にとって新しい馬路診療所の役割とは何か」とその意義を再確認し、そして地域に知っていただくため、完成祝いの餅投げではなく、馬路診療所主催の防災訓練を行いました。

甚大な災害が発生したときには、あき総合病院が災害拠点病院として、災害医療の核となります。その場合、馬路診療所は、地域の医療救護所として最前線で治療にあたる施設となります。

トリアージタグ

非常時の治療をいかに早く行い、効率的に適切な処置ができるかをテーマとし、トリアージという手法で患者ごとの処置を緊急度に応じて対応できるかといったものに取り組みました。

訓練では、各地区の自主防災組織、赤十字救急法救急員、在宅看護師、保健師、中芸消防、高知県危機管理部、安芸福祉保健所らの協力のもと、約40名が参加しました。

まず、トリアージについての基礎的な確認と、災害時における馬路診療所の役割について説明を受けた後、参加者それぞれがけが人や搬送役となり、巨大地震によるけが人がどっと押し寄せてくる設定で行いました。

けが人は、足や腕などを負傷した方や骨折した方、やけどで意識がなく担架搬送される方などさまざまで、馬路診療所ではスタッフがトリアージを実施し、優先度、緊急度に応じた処置を行いました。参加者も「痛い、早くして！」などと叫び、かなりの緊迫感が現場に張り詰めました。

その後、参加者で応急手当ての方法について、三角巾の使い方や止血の仕方を学びました。

もちろん、次々に運ばれてくる患者に対処しきれない場面も数多く発生し、さまざまな課題がでてきました。馬路診療所では、医療救護所を運営するスタッフが限られており、地域からの応援がなくては、全ての患者に対応することが難しいことが明らかになりました。

訓練終了後の反省会では、
・患者を見守る声がけなら私たちにもできる。動ける人は応援せんといかん。
・自分たちの自主防災組織でも応急手当ての講習会を開催せんといかん。
・応急手当てのやり方を覚えてみんなで助け合いたい。
・担架の使い方も知っちょかないかんし、自分たちで災害に備えんといかん。
など、早速取り組んでみたいと前向きな意見が数多く出されました。

さて、皆さまの心構えはどうでしょうか？備えるなら今です。

みんなが応急手当てのできる村を目指し、地域の診療所として務めを果たしていきたいと思っています。

けが人が押し寄せる

けがや症状を確認

院内は大混乱

軽いけがは相互に処置

担架からベッドへの移乗が難しい

優先度をつけて対応

みんなで応急処置の方法を学ぶ

平成27年国勢調査の調査結果（速報値）の公表について

平成27年国勢調査（基準日　平成27年10月1日）につきましては、ご協力いただきありがとうございました。調査の速報値が公表されましたので馬路村の状況をお知らせします。

	人　口			世帯数
	総数	男	女	
平成27年（速報値）	822人	391人	431人	391世帯
平成22年	1,013人	493人	520人	450世帯
増　減	△191人	△102人	△89人	△59世帯
増減率	△18.9%	△20.7%	△17.1%	△13.1%

▲速報値と前回調査の比較

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
出生（人）	8	3	7	5	7	1
死亡（人）	11	21	11	15	13	12
自然増減（人）	△3	△18	△4	△10	△6	△11
転入（人）	34	28	32	39	34	28
転出（人）	56	43	38	60	32	28
社会増減（人）	△22	△15	△6	△21	2	0

▲人口動態表

平成27年10月1日現在の人口は822人、世帯数は391世帯でした。前回の平成22年国勢調査と比べると、人口は191人（18.9％）、世帯数は59世帯（13.1％）減少しています。

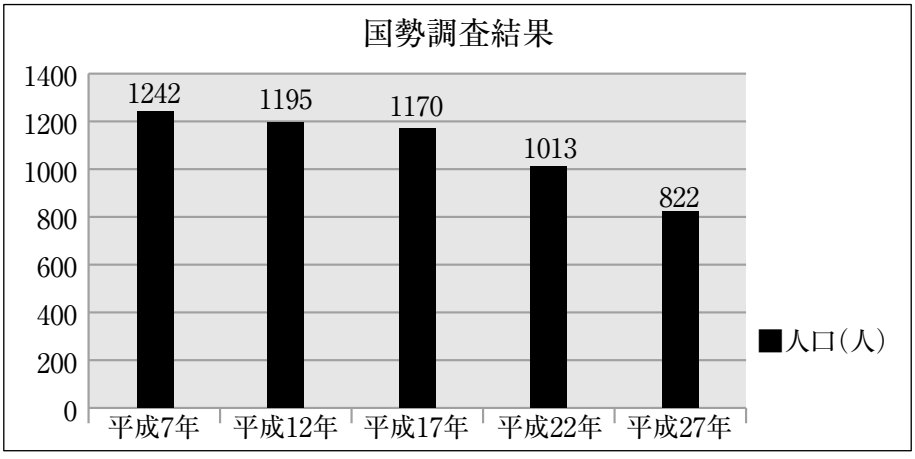
年度別に人口動態を見てみますと、子どもが生まれたり村内へ転入したりする人数よりも、亡くなったり村外へ転出したりする人数の方が多いことが分かります。

特に、進学・就職・転職・結婚などを理由に村外へ転出される方が多いことが、人口減の要因になっていると考えられます。

馬路村の人口減少率は高知県内で最大であり、今後の人口動態をシミュレーションした結果、今後も減少が進むと予測されるため、これからの対策が重要となってきます。

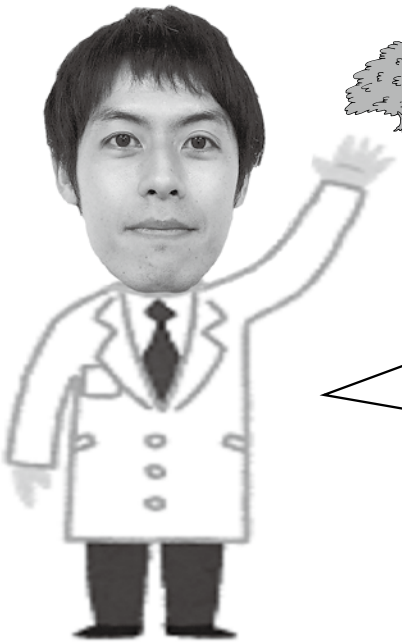
そこで、人口ビジョンでは現状の合計特殊出生率（一人の女性が生涯に産む子ども数の平均）を1.41から1.8に上昇させることと社会移動を0に近づけていくことを目標に、若い世代のI・Uターンを推進していくこととしています。

そのため、平成28年度から地方創生課を創設し、「馬路村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を確実に実行することで人口ビジョン達成を目指していきます。また、主な施策につきましては、本広報に折り込んであります、「馬路村まち・ひと・しごと創生総合戦略概要版」に記載しておりますので、ご覧ください。



▲過去の国勢調査人口

Dr.中川の
木の香る診察室から

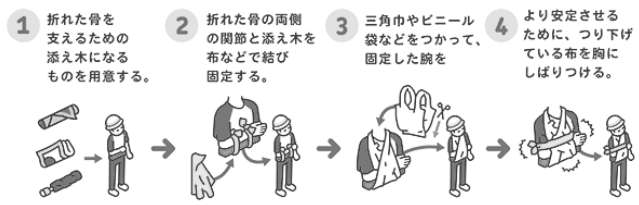


寒さも次第に和らぎ、春の足音が聞こえてくる季節となりました。今年はインフルエンザの流行が遅れたため引き続き手洗い、マスクをして注意していきましょう。

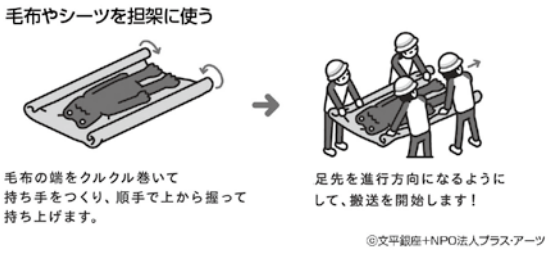
さて、今回は前回に引き続き地震対策として災害時の応急手当てについてです。災害時は平常時と異なり、たくさんのけが人が同時に発生するため、そういった応急手当てや救急救命のための専門の道具が診療所などの施設の備蓄しているものでは足りなくなり、また新たな入手は困難となります。そこで、身の回りのモノで、誰でもできる応急手当ての技をご紹介したいと思います。災害時にとても役に立ちますので皆さんぜひ覚えてみてください。

○止血の方法　―直接圧迫止血法―

○骨折の手当て
―スーパーのレジ袋で骨折を固定―



○担架で怪我人を運ぶ　―毛布やシーツを使う―



先日診療所で行った災害訓練でも、いざ訓練してみると反省点や改善点が浮き彫りになり、実際にやってみないとわからず、何度も繰り返しすることで改良を重ね、災害がおきた時に備えられると実感しました。今後、各地区の自主防の方たちと協力して訓練や講習をしていきたいと思っています。

最後になりましたが、4月より四万十町へ異動することとなりました。1年という短い間でしたが、馬路村ではたくさんの人と出会い、人生における大切な思い出や貴重な経験ができました。ありがとうございました。

▲妻と診療所スタッフと一緒に

また会いする機会があれば、夫婦ともどもよろしくお願いします。

安田川漫歩 (18)

－ あの人 あの情景 を訪ねて －

文・構成　清岡博之
写　真　安岡一成

安田川沿いにひろがる景色に私たちはすっかり親しみ、当たり前のものだと思っています。
とはいえ車から一歩降りると、目に映るものがなにかしらちがってきます。そんな情景や人をたずねる安田川漫歩。今回は安田町の紺屋「北紺」です。

染物よろず承り 北紺（きたこん）

高知県東部でも数少なくなった紺屋が安田町にあります。豊永染工所〝北紺〟です。京都で5年ほど修行を積み、家業を継いでいるのが6代目豊永均さん（53）。幕末期の安田村には5軒の紺屋が店を構えていたというそのひとつです。親戚関係でもあった同業の〝松紺〟がすぐ南にあり、松紺の北にあったことから屋号は北紺だといいます。藍染めにつながる紺は〝染め〟を意味し、紺屋で染物屋となります。先代の喜六さん（81）も健在ですが今は一切の作業工程を均さんがこなします。

まず下絵の輪郭に糊をのせた白布へ、筆や刷毛を使いわけて色をつけます。それを120度強の熱風に10分ほどさらし、染料を生地に定着させます。つぎに水槽へ移して糊を洗い落とし、白地となった輪郭に墨入れを施すとほぼ完成。最後に母親の扶美江さん（76）が縫い合わせのミシンをかけます。

上／大胆にそして繊細に染料を含ませた刷毛を走らせる均さん。正確には染料と顔料の中間のような特性をもつ〝染料〟とのこと。思いのほか速く刷毛を動かす

下／両端を柱にゆわえ胸の高さに張った木綿の白布。鯉がはねる滝の水へ色をつける。下絵の輪郭には米にぬかを混ぜてつくった糊をのせてあり、色を定着後に洗い流す

左／作業場入口引き戸の文字は紺屋を強く主張する

上／伝統的な図柄である金太郎ものも人気である。鯉の滝登りを配したフラフに色をつける。この地域では縦3m、横4.5mが標準サイズであり、手前の2枚と奥で染めている1枚とを縫い合わせるとその寸法になる。家紋と名前を入れた仕上がりで約8万円

毎年2月から4月中旬にかけて注文がどっと舞い込みます。端午の節句を祝うフラフの依頼です。今年も部屋飾り用の小さいサイズを含めて20枚ほど受注しました。染物にも時代の流れを感じます。フラフでは必ず図柄に入れていた家紋がいつのころからか少なくなり、昔はしなかった名前を今は入れるようになりました。また遠洋漁業が華やかしころは新船がおりた（進水）お祝いにフライキ（大漁旗）を贈るのが慣わしでした。

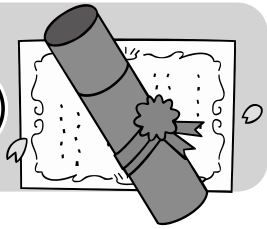
まもなく薫風香る五月、青空に映えて勇壮に翻るフラフを目にします。

左／三段の水切り瓦を設けた蔵が庭の隅に建つ。安田川がすぐ前を流れ、かつては川で下絵の糊を洗い流した。デンプン質の糊をもとめて小魚が寄ってきたという

左／最終の工程で3枚の布を縫い合わせる扶美江さん。下絵書きから1週間でフラフが完成する

下／敷地北側に残る土塀。赤土を練って石を積み重ねた地域色豊かな特徴を備える。蔵ともに幕末期の築造

おらが村の学校便り㊵



魚梁瀬中学校

五百蔵颯志（そうし）

魚梁瀬中学校で過ごした3年間はあっという間でした。この3年間は、楽しい思い出もあればつらい思い出もありました。友達、先生、地域の皆さま方に支えられ本当に充実した生活を送ることができました。部活動、学校生活で培った経験を生かし高校でも充実した生活を送りたいと思います。

4月からは馬路村から離れますが、馬路村で過ごした15年間はかけがえのないものです。至らない点も多々あった僕ですが本当にお世話になりました。今までありがとうございました。

岡田隼人（はやと）

僕が魚梁瀬に転校してきてから2年がたちました。魚梁瀬中での勉強は自分なりに頑張ろうとしました。部活の卓球は2年で始めたので、早く強くなろうとノートにメモをとったり、サーブを研究したりしました。中芸大会で3位になったことはとても心に残っています。

魚梁瀬ではいろんな経験をさせてもらいました。大変お世話になりました。ここでの経験を生かして、くじけそうな時も負けずに頑張りたいと思います。

つた中学生

馬路中学校では3月12日に6名が、魚梁瀬中学校では3月13日に5名が、3年間仲間と苦楽を共にした学びやを巣立ちました。今回の「おらが村の学校便り」では、その卒業生に中学校での思い出や将来の夢を語ってもらいました。

皆津太洋（たいよう）

僕にとって3年間の中学校生活はとても慌ただしくあっという間だったように思います。先輩方に頼りきりだった1年時から、部活動や学校行事を通し、少しですが自分で考え行動できるまで成長することができました。楽しいことばかりではありませんでしたが、先生方や地域のかたがたのあたたかい支援のおかげで乗り越えてこられました。

これからの生活に不安もありますが、この馬路村での15年間の経験を糧に頑張っていきます。長い間ありがとうございました。

福本優人（ゆうと）

僕は山村留学生として魚梁瀬に転校してきました。最初はここでうまくやっていけるのかと不安でいっぱいでしたが、地域のかたがたや保護者、小中学校の先生、そして小・中学生があたたかく迎えてくれてとてもうれしかったです。そのおかげで僕は2年間やってこられたんだと思います。そして、ここに来て僕は体力の向上と精神面の成長が大幅にできたと思います。

僕はここへ来て本当に良かったと思います。この2年間本当にありがとうございました。

湯浅大雅（たいが）

この3年間はとても充実した3年間になりました。運動会や修学旅行などの学校行事や日々の学校生活、部活動などを通してたくさんの経験ができました。部活動では、3校で連合チームを組んだりと他のチームでは体験できないことなどもできました。

春からは馬路村を離れますが、今までで学んだ知識や経験を生かし頑張りたいと思います。今までありがとうございました。

馬路中学校

村を巣立

大野祐生

中学校生活で一番心に残っていることは修学旅行です。東京ディズニーランドや東京ドームに行ってすごく楽しかったし、最高裁判所や国会議事堂では政治のしくみなどを知ることができました。

高校で頑張りたいことは、部活と勉強の両立です。自分の苦手な教科を克服し、興味・関心を生かして専門教科に力を入れていきたいです。高校に行っても野球を続けるので、応援よろしくお願いします。

ありがとうございました。

北岡来望

中学校生活で心に残っていることは、生徒会副会長を務めたことです。評価はされにくかったけれどやりがいがあり、達成感を味わうことができました。そのおかげで、他の人が動きやすくなるには自分がどう行動すればいいかを考える力を身につけることができました。

私の将来の夢は介護士という人と関わる仕事なので、中学校で学んだことを生かし、高校での経験も自分の成長につなげたいと考えています。

笹岡季珠

一番印象的だったことは、ゆず採りボランティアです。馬路中学校特有の行事なので、他の学校ではできない貴重な体験ができました。また、地域に貢献できたので心に残っています。

高校では文武両道を目指したいと思います。そのために、しっかりと勉強し、将来に生かせるようにしたいです。部活では野球部に入部し、甲子園を目標にして努力します。

今までありがとうございました。これからも頑張りたいと思います。

白川志保

一番心に残っていることは、部活動です。最後の試合では、最後まであきらめずプレーできたので悔いのない試合ができました。また、仲間と支え合ってきたことも心に残っています。

私たちは伝統ある馬路中学校バスケットボール部の最後の部員となりました。支えてくれた皆さん、ありがとうございました。

高校では、看護師になるという夢の実現に向かって、馬路で学んだことを胸に頑張りたいです。

宮口大登

中学校で一番心に残っていることは、野球部での部活動です。特に、最後の選手権大会で、1回戦で勝ったときはとてもうれしかったです。

中学校生活を通して、普段の生活が本番で役に立つということを学びました。あいさつや返事は特に意識してすることが必要になってくると思いました。

中学校3年間、たくさんの人にお世話になり、ありがとうございました。高校でも野球部に入り頑張ります。

山下遥

一番心に残っていることは部活です。部活を通じて色んなことを学びました。しんどかったこと、うれしかったこと、仲間と助け合い喜び合うことができ、本当に良かったです。そして自分自身も成長できたと思います。

将来の夢は、パティシエになることです。たくさんの人から信頼されるような人になりたいです。これからは、今まで以上につらいことがあると思いますが、諦めず前に進んで、頑張っていきたいと思います。

魚梁瀬 ふるさと応援隊 ⑨

今年も「やなせの端午の節句」開催予定

隊員　坂口　いづみ

4月になり、新しい出会いの季節になりました。その一方、別れもあったかと思います。

私も今年に入ってすぐに、同じ応援隊の仲間との別れがありました。いつも何かを一緒にする時には私を引っ張ってくれて、とても心強かったです。一人になってできることも限られてしまうかもしれませんが、努力していきますので、今後もよろしくお願いいたします。

今年も2月20日から3月3日まで魚梁瀬杉の家で、魚梁瀬地区の皆さまからお借りしたひな人形などを展示する「やなせひな祭り」を開催しました。

今年はお人形を飾るだけでなく、ひな祭りに関するクイズを書いた紙を用意しました。クイズには、特に子どもたちや女性の方が興味を持ってくださり、お人形の前で考えておられました。「やなせひな祭り」にご協力いただいた皆さま、そして見に来ていただいた皆さま本当にありがとうございました。

5月には端午の節句のイベントを予定しております。今年も魚梁瀬地区の皆さまからお貸しいただける兜やこいのぼり、フラフを募集しています。丸山公園がよりにぎやかになるようにできればと思っていますので、ご協力よろしくお願いいたします。

フラフはためく初夏の風を感じに、ぜひ魚梁瀬にお越しください。お待ちしています。

▲展示していたひな人形の手前にふきのとうを生けています

連絡先　☎: 0887-42-2001　FAX: 0887-42-2007
Facebook: https://www.facebook.com/o.yanase
E-mail: o-yanase@mc.pikara.ne.jp

馬路村 ふるさとへの便り 61

馬路宛 2016.4

ここで生まれて本当に良かった

皆さんこんにちは。私は馬路中学校を卒業後、馬路を離れ高校・看護学校へ進学し、現在は高知市内の病院で看護師として働いています。

村を離れて15年がたちますが、1、2カ月に1回は家に帰るようにしています。馬路に帰ると空気や水、食べ物が「おいしい」と感じて、時間がゆっくり過ぎているように感じます。

中学生のときは部活や陸上・駅伝の練習と毎日体を動かしていて、思い出すとあのころは本当に鍛えられていたなと感じます。

今では体を動かすことも少なくなりましたが、風邪もひかず健康で過ごすことができているのは小さいころから運動する環境にあったからだと思っています。

職場で出身先を言うと「いい所やねー」と言ってくれ「馬路がニュースにでちょったよ」とよく声をかけてもらったりします。患者さんともユズやイノシシの話をしたりと、周りの人が経験できないようなことを小さい頃から生活の一部としていたので、馬路に生まれて本当に良かったと思います。家族にはいつまでも元気で長生きしてほしいです。馬路村のさらなる発展を願い、少しでも貢献したいと思っています。

▲現在の職場と私です

乾　春菜さん（相名出身）

馬路村のユズ栽培 中国四国農政局長表彰優秀賞受賞

平成28年1月29日、馬路村農協ゆず部会が取り組んでいる、環境に優しいユズ栽培が高く評価され、中国四国農政局長表彰優秀賞を受賞しました。

ゆず部会構成員全員が、有機農業に取り組んだ結果、平成27年度の環境保全型農業直接支払交付金の取り組み件数が１０６件となりました。馬路村の規模でこれほどの取り組み件数は、全国的に見ても非常に多く、このことが高く評価され、今回の受賞につながりました。

２月10日には、中国四国農政局の甲斐生産技術課長が来村し、ゆず部会中屋会長に表彰状が授与されました。

「農協が有機をやろうと言うて始めたのが平成13年。化学肥料をやめたら収量が減ることは分かっちょったけんど、みんなが農協を信頼して、村一斉に有機に切り替えました。農薬を使ったユズはきれいなけんど、食べようと思うのはやっぱり馬路のユズですね」という中屋会長の話に、甲斐課長は「一斉に切り替えることは簡単なことではない。これからもその団結力で頑張ってください」と激励していました。

▶中国四国農政局甲斐課長と表彰されたゆず部会中屋会長

馬路ヨン（ウマジ）

国際交流員：ジョン・ワード
（アメリカ合衆国・ノースカロライナ州出身）

皆さん、こんにちは！

とうとう春が来ました！春と言えば、桜ですね。私は馬路村の桜が咲く景色を見るのをずっと楽しみにしていました。ちなみに桜は英語で「ｃｈｅｒｒｙ　ｂｌｏｓｓｏｍｓ」と呼ばれ、海外では日本の象徴として知られています。海外の人から最も人気のある日本の季節は春で、日本の桜を見るために、毎年たくさんの外国人観光客が来日しています。

また、桜は日本だけでなく、海外でも見ることができます。たとえば、アメリカ合衆国の首都ワシントンＤ・Ｃ・には、ジェファーソン記念館と隣接するポトマック川の河畔に数千本の桜の木が植えられています。この木は１９１２年にアメリカ合衆国と日本との友好関係をよりよいものにするために、日本の東京市長（現在の東京都知事）が寄贈したもので、この返礼としてアメリカで最も愛される木の一つであるハナミズキが日本に贈られました。

毎年春には、二国間の親密な関係の継続を祝うために「全米桜祭り」という祭りがこの桜の木の辺りで行われています。私が数年前にこの桜を見に行った時は本当に素晴らしい景色で、日本の象徴である桜が、アメリカの首都で大切に育てられているのを見て、感動しました。

皆さんも機会があれば、この桜の木を見に行ってみてください。

▲ジェファーソン記念館と満開の桜

お知らせ

国民健康保険・後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方へ

～ 特定健診・健康診査を受けましょう ～

国民健康保険（40歳～74歳）、後期高齢者医療（75歳以上）制度では、生活習慣病（高血圧・糖尿病など）を早期に発見し、予防・改善に生かすため、特定健診・健康診査を行っています。

特定健診・健康診査は無料で受診できますので、ご自身の体と生活習慣を見直す機会として、年に一度は必ず受診してください。

受診対象となる方へは、3月下旬から5月上旬にかけて個別に受診券をお送りしますので、積極的な健康管理に努めましょう。

また、今年度から後期高齢者医療対象（75歳以上）の方で、生活習慣病の治療中の方も、受診券の発行を役場健康福祉課窓口にて随時できるようになりました。ご希望の方は下記窓口までお問い合わせください。

国民健康保険（特定健診）	後期高齢者医療（健康診査）
40歳～74歳（治療中の方も対象）	75歳以上
無料	
事前に診療所でご予約のうえ、役場からお送りする受診券と被保険者証をご持参ください	
馬路診療所（5/10～12/15の毎週火・木曜日午前中）	
3月下旬	5月上旬

※ 診療所以外に県内の各医療機関でも受診できます。詳細は医療機関・下記窓口までお問い合わせください。

（お問い合わせ先）
役場健康福祉課　☎(8)44−2112
馬路診療所　☎(8)44−2010

調理中の火災に気をつけましょう！

住宅火災の出火原因と負傷者の発生原因で一番多いのは「調理器具」です。「調理器具」による火災の一例としては、揚げ物調理時に火をつけたままその場を離れてしまい、過熱した油が発火し火災となるケースが挙げられます。

最近ではIHクッキングヒーターを利用する人も増えてきましたが、IH料理に適さない鍋を使って火災になるケースや、揚げ物調理で少量の油しか入れなかったため急激に油が加熱されて発火するケース等、不適切な使用により火災になるケースが見られます。また、卓上式のカセットこんろを、調理のためではなく暖をとるために使用して火災に至るケースも見られました。カセットこんろを使用するときは、周囲に可燃物がないのを確認してから適切に使用しましょう。

中芸広域連合消防本部　予防係
☎0887−38−2648

▲少し目を離したすきに…

スポーツ安全保険®

対象となる事故　団体活動中の事故／往復中の事故
保険期間　平成28年4月1日午前0時から平成29年3月31日午後12時まで（申込受付は平成28年3月から）
掛金　掛金（1人年額 800円～11,000円）は、活動内容・年齢によってご選択いただく加入区分ごとに異なります。
例 高校生以上64歳以下の方のスポーツ活動を補償するC区分は1,850円

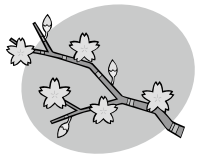
スポーツ安全協会　検索　インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 高知県支部
〈(公財)高知県体育協会内〉
〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-52 高知県庁西庁舎1階 TEL088-820-1755 電話受付時間：午前8時30分～午後5時15分（土、日、祝日を除く。）

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
http://www.sportsanzen.org
●資料請求は、インターネットより受付けております。

携帯電話から資料請求ができます。

4月・5月 むらの行事予定



4月		
1	金	
2	土	
3	日	馬路村観光開き魚梁瀬桜まつり（丸山公園）
4	月	
5	火	入園式（馬路、魚梁瀬保育所）　10：00～ 有害物収集
6	水	
7	木	馬路、魚梁瀬小・中学校始業式、入学式、新任式
8	金	行政相談所（就業改善センター）10：00～12：00 人権相談所（就業改善センター）10：00～15：00 古紙収集（魚梁瀬）
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	絵本の読み聞かせ（魚梁瀬保育所） リサイクル収集
13	水	
14	木	
15	金	高知県立移動図書館（魚梁瀬多目的施設）11：10～11：50
16	土	職域ソフトボール大会
17	日	
18	月	
19	火	全国学力・学習状況調査 絵本の読み聞かせ（馬路保育所）
20	水	馬路・魚梁瀬中学校修学旅行（関東方面）（～23日） 乳児健診（田野町保健センター）13：00～
21	木	
22	金	古紙収集（馬路）
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	リサイクル収集
27	水	馬路保・小・中PTA総会（就業改善センター）19：00～ 魚梁瀬PTA歓迎会（魚梁瀬多目的施設） 1歳6カ月児健診（田野町保健センター）13：00～
28	木	春の遠足（馬路小・中学校）
29	金	昭和の日
30	土	馬路小・中学校参観日

5月		
1	日	
2	月	春の遠足（魚梁瀬小・中学校）
3	火	有害物収集　憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	
7	土	
8	日	馬路温泉バラ風呂
9	月	
10	火	絵本の読み聞かせ（魚梁瀬保育所）・リサイクル収集 特定計量器定期検査（魚梁瀬多目的施設）14：30～15：30 特定健診・健康診査受付開始（～12月17日まで）
11	水	特定計量器定期検査（馬路村役場）9：30～11：00 乳児健診（田野町保健センター）13：00～ 馬路温泉バラ風呂
12	木	
13	金	古紙収集（魚梁瀬）
14	土	中芸地区中学校夏季体育大会（～15日）
15	日	
16	月	
17	火	第27回馬路地区スカッシュバレーボール大会（～18日） 高知県立移動図書館（就業改善センター）10：40～11：30 絵本の読み聞かせ（馬路保育所）
18	水	第55回馬路村教育研究会（就業改善センター） 馬路温泉バラ風呂
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	リサイクル収集
25	水	3歳児健診（田野町保健センター）13：00～ 馬路温泉バラ風呂
26	木	高知県立移動図書館（魚梁瀬多目的施設）11：10～11：50
27	金	古紙収集（馬路）
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

人口月中異動	増加				減少				月末現在人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
2月	0	2	0	2	0	1	0	1	935
3月	0	16	0	16	1	27	0	28	923

馬　路　746人、352世帯
魚梁瀬　177人、93世帯
（外国人含む）

馬路村特別村民　9,830人
（3月31日現在）

村内あちらこちら

2月14日　杉の子発表会（魚梁瀬小・中学校）

2月17日　学習発表会（馬路小学校）

3月4日　お別れ遠足（魚梁瀬小学校）

3月23日　地域リーダー研修（四万十町）

3月25日　馬路保育所卒園式

村のできごと

2月

3日　豆まき（馬路・魚梁瀬保育所）
4日　保育園児体験入学（馬路小学校）
10日　馬路診療所防災訓練
14日　杉の子発表会（魚梁瀬小・中学校）
17日　学習発表会（馬路小学校）
20日　生活発表会（馬路保育所）
　　親子で本を楽しむ日 in 馬路村
26日　中芸地区JET写真展「わたしの中芸」
　　（就業改善センター）～3月3日まで
27日　魚梁瀬地区ひな祭り（魚梁瀬杉の家）
　　～3月3日まで

3月

1日　絵本の読み聞かせ（魚梁瀬保育所）
　　アメゴ漁解禁（安田川・奈半利川）
2日　生活発表会（魚梁瀬保育所）
　　お別れ遠足（馬路小学校）
4日　お別れ遠足（魚梁瀬小・中学校）
5日　「やなせ水源の森」交流イベント
12日　馬路中学校卒業式
13日　魚梁瀬小・中学校卒業式
19日　馬路小学校卒業式
23日　地域リーダー研修（四万十町）
25日　馬路保育所卒園式
26日　親子工作教室（就業改善センター）
30日　庄屋祭・鬼門堂祭・村表彰

編集後記

卒園式、卒業式。園児や児童、生徒が次のステップへ上がっていく姿は、たくましく、また希望に満ちあふれています。

教育委員会に配属になって1年。子どもたちの成長を感じることが多い1年でした。28年度は痩せるだけでなく、子どもたちに負けないくらい、日々勉強していきたいと思います。

（安）

編集発行▶馬路村教育委員会
住所　〒781-6201　高知県安芸郡馬路村大字馬路443
TEL　0887−44−2216　FAX 0887−42−1010
E-mail　umaji-v@kochinet.ed.jp
印　刷▶株式会社　高知新聞総合印刷